

新庄信用金庫レポート

DISCLOSURE (平成27年9月末)

SHINJO SHINKIN BANK

ごあいさつ

信用金庫は、協同組織形態の地域金融機関として、経営の健全性、透明性の確保を基本に、その社会的使命を果たし、会員をはじめとする地域の中小企業や住民の方々から、高い信頼と信認を得てきたところであります。

現下の金融機関をめぐる経営環境を見ますと、国内においては今年4月に日経平均株価が15年ぶりに2万円台を超え好調な動きを続けていたものの、国外においては、8月に中国経済失速懸念を発端とした日米欧アジアで「世界同時株安」の様相を呈し、また米連邦準備理事会（FRB）によるゼロ金利政策解除の時期が不明確であること等から、先行きが不透明な状況にあります。

このような情勢下、地方創生の掛声はあるものの地域経済は相変わらず閉塞感の中にあり、売上不振企業も増加するなど厳しい状況が続いております。

以上の経営環境のもと、当金庫はこれからも、地元になくてもならない金融機関として『地域社会の繁栄に貢献する』ことを経営理念とし、皆様方のご期待にお応えできますよう役職員一致協力して努力する所存であります。

今後とも、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成27年11月

理事長 井上 洋一郎

CONTENTS

1. 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）
2. 自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項
3. 預金・貸出金の状況（残高）
4. 貸出金の内訳（業種別区分残高）
5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）
6. 総代会の機能・総代の氏名等
7. CSR進捗状況
8. 地域貢献
9. トピックス

（記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません）

1. 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

（単位：百万円）

債務者区分※	平成27年9月末	平成27年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	684	756
危険債権	2,400	2,096
要管理債権	841	852

（注） 上記の平成27年9月末の計数は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規制」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数と異なるため、計数は連続していません。

- 平成27年9月末の「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分を前提とし、同年3月末から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに債務者区分の引下げ等があった債務者について、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の変更をしております。この場合、債務者区分が下方へ変更になった場合を対象とし、債務者に対する債権額を新たに加算、元の債務者区分欄から減額しております。
- 平成27年9月末の「要管理債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分を前提とし、同年3月末から9月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに3ヵ月以上延滞となった債権、②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に変更になった金額を減算しております。

また、平成27年3月末時点の自己査定金額を基準として、半期中の増減額を勘案しております。

※ 債務者区分

- ・破産更正債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
- ・危険債権（破綻懸念先）
- ・要管理債権（要注意先のうち、利払いが3ヵ月以上延滞しているか、貸出条件を緩和している債権）

2. 自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項

（単位：％、百万円）

項 目	平成27年9月末	平成27年9月末 (経過措置による不算入額)	平成27年3月末	平成27年3月末 (経過措置による不算入額)
単体自己資本比率	11.35	-	10.79	-
コア資本に係る基礎項目の額	4,914	-	4,602	-
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	0	3	0	3
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	9	36	9	36
前払年金費用の額	10	41	14	57
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	17	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額	37	-	24	-
自己資本の額	4,876	-	4,578	-
リスク・アセット等の額の合計額	42,927	-	42,411	-
信用リスクに対する所要自己資本の額	1,571	-	1,551	-
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	145	-	145	-
単体総所要自己資本額	1,717	-	1,696	-

3. 預金・貸出金の状況（残高）

（単位：百万円）

	平成27年9月末	平成26年9月末	平成27年3月末
預金	65,445	63,820	64,121
貸出金	37,769	37,459	38,311

4. 貸出金の内訳（業種別区分残高）

（単位：百万円）

	平成27年9月末	平成26年9月末	平成27年3月末
製造業	3,000	2,978	3,077
農業、林業	203	181	173
建設業	2,555	2,584	2,638
運輸業、郵便業	362	366	377
卸売業、小売業	2,402	2,617	2,495
金融業、保険業	2,052	1,450	1,752
不動産業	7,472	8,083	7,916
物品賃貸業	65	58	69
学術研究、専門・技術サービス業	31	42	37
宿泊業	580	572	560
飲食業	584	452	636
生活関連サービス業、娯楽業	677	819	785
教育、学習支援業	18	18	19
医療、福祉	1,317	1,231	1,206
その他のサービス	3,106	3,075	3,027
小計	24,431	24,532	24,773
地方公共団体	1,022	1,268	1,433
個人（住宅・消費・納税資金等）	12,315	11,658	12,104
合計	37,769	37,459	38,311

（注）業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

（単位：百万円）

	平成27年9月末				平成27年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	13,387	△ 474	335	810	12,054	563	748	184
株式	551	△ 34	26	61	470	36	52	16
債券	1,526	14	17	3	929	17	19	1
その他	11,310	△ 453	291	745	10,654	509	675	166

	平成27年9月末				平成27年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	-	-	-	-	1,700	△ 248	3	252

- （注） 1. 平成27年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成27年9月末時点の帳簿価格と時価との差額を計上しております。
 2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は、決算上に影響しません。

6. 総代会の機能・総代の氏名等

【総代会の機能について】

総代会は、当金庫の会員の中から定款に定める方法によって選任された総代で組織される最高議決機関です。

【総代の氏名等について】

1. 総代の氏名等

選任区域	人数	氏名・就任回数（丸内数字）	
新庄地区	35名	藤田 敏雄⑦ 井上 光雅⑦ 永井 利見⑦ 五十嵐 敏三⑦ 沼澤 孝人⑥ 稲川 辰也⑦ 沼澤 正則⑥ 山科 昭雄⑥ 庄司 平八⑥ 阿部 浩悦⑥ 高橋 友三郎⑦ 森 新昭⑦ 清水 一磨⑦ 江口 好彦⑦ 八戸 啓次郎⑥ 菅 信二⑥ 井上 孝雄⑦ 長倉 洋一郎⑦	吉田 慶一② 片岡 潤二② 富田 久三郎⑦ 富樫 利宏⑥ 阿部 克② 海藤 健治④ 井上 貞治④ 赤松 正文③ 伊藤 雄一③ 佐藤 啓③ 田澤 雅宏③ 長南 雅行③ 早坂 幸久③ 森 俊明③ 涌井 正和③ 涌井 洋一③ 結城 敏夫②
最上郡地区	15名	柴田 清正② 佐藤 景一郎⑦ 笹原 一郎⑦ 川崎 藤兵衛⑦ 岸 伊和男⑦ 白倉 周二⑦ 矢作 勝太郎⑦ 山科 昌英⑦	川田 幸一⑤ 佐々木 重四郎⑤ 大場 利秋⑥ 青柳 富士男③ 石山 洋一③ 庄司 和敏③ 熊谷 市夫②
天童・大石田地区	11名	有路 好彦⑤ 富樫 啓一⑦ 庄司 正彦② 土田 和平⑦ 海和 貞三⑦ 村山 与四郎⑥	垂石 祐一郎⑥ 山口 孝之⑤ 押野 隆吉③ 藤橋 与惣吉③ 荒木 正憲③

2. 総代の属性別構成比

職業別	比率（％）
法人代表者	55.7
個人事業主	32.8
個人	11.5
合計	100.0

年代別	比率（％）
40～49歳	4.9
50～59歳	13.1
60～69歳	27.9
70歳以上	54.1
合計	100.0

職業別	比率（％）
製造業	14.8
農業、林業	1.6
建設業	13.1
卸売業、小売業	34.5
不動産業	8.2
学術研究、専門・技術サービス業	1.6
宿泊業	1.6
生活関連サービス業、娯楽業	4.9
医療、福祉	4.9
その他のサービス	14.8
合計	100.0

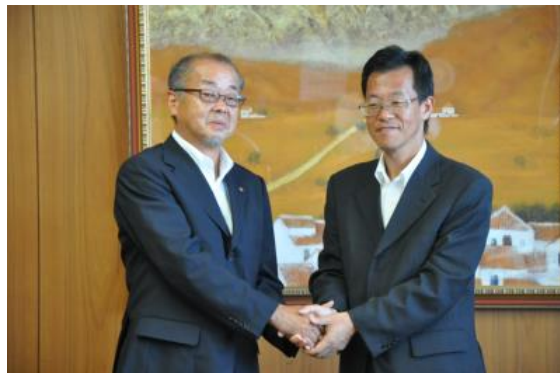
7. CSR進捗状況

(コーポレート・ソーシャル・レスポンシビティ)

CSRとはCorporate Social Responsibilityの略で、一般的に「企業の社会的責任」と言われます。

～ご存知ですか？CSR～

企業の事業継続性(サステナビリティ)は財務諸表のみではなく、お客様、職員や地域社会などの存立基盤によって形成されるものであり、こうした多面的な配慮が、企業の将来的な発展には必須の条件であるという考え方です。協同組織である当金庫は、日頃の本業を通じた事業活動そのものが、CSR活動に結び付いております。



日本政策金融公庫と「中小企業等支援に関する業務連携の覚書」を締結

◆ コーポレートガバナンス（企業統治）

・お客様の声に耳を傾けます。

当金庫では、お客様から頂いたご意見等を参考に、様々な活動を行っております。これからも、地域に密着したより良い金融機関を目指すため、ご協力をお願いいたします。

<進捗状況>

- ・ 社会保険労務士との連携による「個別年金相談訪問」を実施しております。
- ・ 国の事業である「平成27年度中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」に取り組んでいる山形大学「学金連携プラットフォーム」に参加し、営業係がお客様から承った課題に応じて最適な専門家を派遣しております。



「山形大学認定学金連携コーディネーター研修・スキルアップ研修」に職員が参加いたしました。現在、13名の職員が認定を受けております。



日本ファイナンシャル・プランナーズ協会の小学生作文コンクール図書『夢をかなえる』を営業エリアの小学校高学年対象に贈呈しました。

◆ ステークホルダー（当金庫を取り巻くあらゆる利害関係者の方々）

・お客様からの相談にアドバイスできるよう努力しております。

当金庫では、お客様の堅実な資産作りのお手伝いをさせていただいております。より多くのお客様の現状や将来の生活設計に役立てるよう、ご相談機能や、新商品の開発、サービスの一層の充実に向け、職員一丸となってFP（ファイナンシャルプランナー）技能士資格取得を目指し、努力してまいります。

<進捗状況>

- ・ 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会のAFP資格とCFP資格取得に向けた取組を継続しております。
- ・ 中小企業診断士によるIT相談や、社会保険労務士・コンサルタントによる経営相談を実施しております。
- ・ 山形大学と共に顧客の課題発掘・解決に関する取組を行っております。

◆ エコロジー・社会貢献

・NPO法人バイオマスものがみの会と共に、バイオマス（生物資源）の利用研究に関する普及啓発活動や、企業の森づくり活動、新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営等、明るく住みよい地域社会づくりに貢献しています。

<里山地域の「森づくり活動」>

- ・ 101名の参加者で「木チップ遊歩道整備と森の宝探し体験」を開催いたしました。
- ・ 127名の参加者で「森の材料でフォトフレーム作り・遊歩道下刈り整備・芋煮会」を実施し、整備した遊歩道にて里山保全における情操教育効果を目指した活動を行いました。

<新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営>

- ・ 地域の小学校において、紙芝居を用いて思いやりや協力することの大切さを学ぶ道徳の授業を開催しました。



東日本大震災をモチーフに作った「つなみのひ」紙芝居を活用して道徳の授業を開催しました。

8. 地域貢献

新庄信用金庫と地域社会

～ 地域に根ざしたコミュニティバンクをめざして ～

< 当金庫の地域経済活性化への取組みについて >

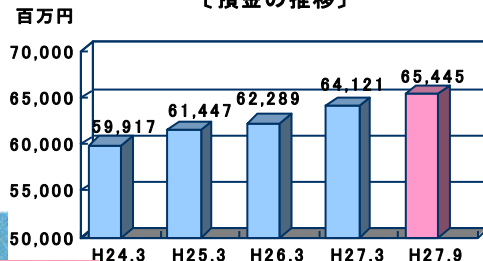
当金庫は山形市以北の村山、新庄・最上地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となつて、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切なお金（預金積金・出資金）は、地元で資金を必要とするお客様にご融資を行い、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の方々との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

◆預金積金残高【65,445百万円】

当金庫では、地域のお客様の堅実な資産づくりのお手伝いをさせていただいております。より多くのお客様からご利用いただけるよう新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

〔預金の推移〕

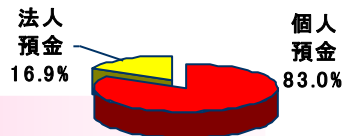


◆「えほん定期」(夢がかなう本)

えほんの主人公に、お子様等のお名前が入った、世界でたった1冊の自分だけのオリジナル絵本をプレゼントします。



〔預金者別預金残高〕



預金積金／出資金

「地元」で預けて頂いたお金は「地元」へ。

貸出金／支援サービス

◆貸出金残高【37,769百万円】

預金積金に対する割合【57.7%】

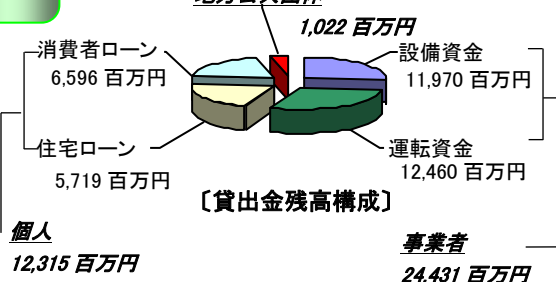
地元のお客様からお預け入れいただいた預金積金につきましては、お客様の様々な資金ニーズに応え、地域経済の活性化に資するためにご融資を行い、地域社会に還元しております。その結果、個人のお客様を含めた地域の事業者の皆様に対し、総貸出金の約91.8%をご融資しております。（その他は、地方公共団体へのご融資です）

◆取引先への支援等

当金庫は、業績低下に苦慮しているお客様に親身になって相談し、打開のための改善策や経営改善計画書等へのアドバイスをするなど、金銭面だけでなく生きた支援を心掛けております。

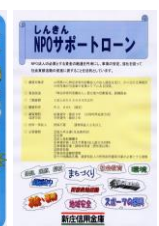
また、お取引先事業経営者への情報提供と、異業種交流・親睦を図る場として「しんきんエグゼクティブクラブ」を運営し、経済・文化講演会や各種セミナー等を開催、お取引先様の発展と繁栄のお手伝いをしております。

地方公共団体



◆新規創業支援

地域の活性化を目的とした創業支援商品「コミュニティビジネスローン」や、街づくりを支援する「NPOサポートローン」がございます。



地域のお客様／会員の皆様

新庄信用金庫

9. トピックス

地域貢献・CSR

新庄地区サッカー界のレベルアップをはかるため、新庄フットボールクラブが主催のサッカー大会やキッズサッカースクールにおいて協賛しております。



山形大学・最上総合支庁主催の企業向け勉強会「最上夜学」や、イベント・コンサートを定期的にレキシントン新庄にて開催・支援を行っております。



学生のインターンシップを受け入れ、茶道や金庫業務を実際に体験していただきました。



イベント

毎年恒例の「ビールパーティー」を本店の屋上にて開催。



読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏を迎え、本店6階ホールで講演会を開催。



お客様を対象とした小旅行を開催（10月に足湯付新幹線「とれいゆつばさ」日帰り旅行を実施）。



メイジャ・マクレ・14リーグ 第17回新庄ジャパンカップ国際親善ソフトボール大会を開催



財団法人日本健康スポーツ連盟によるスローピッチソフトボール（愛称：メイジャ・マクレ・14リーグ）に参画し、昨年から各地域のチームと交流試合を開催して参りました。

そしてこの度当地域新庄にて、東北地方初の「第17回新庄ジャパンカップ国際親善ソフトボール大会」を新庄商工会議所と協力して10月11～12日に誘致・開催いたしました。海外からは台湾の嘉義チームが参加し、国内からも多数のチームが参加しました。

地方創生に関する取組み



まち・ひと・しごと創生に向けては、人々が安心して生活を営み、子供を産み育てられる社会環境を作り出すことによって、活力にあふれた地方の創生を目指すことが急務の課題です。そして今回、山形大学東北創生研究所の村松真准教授とともに、形骸化しない本当の地方創生を考えていく「まち・ひと・しごと創生研究会」を立ち上げました。

そして研究会創設後、雇用創出・定住条件整備・地域教育振興の3テーマを柱として研究会会合を2回開催しております。また、当金庫職員が新庄市の地域創生を審議する「新庄市振興計画審議会委員」として参画しております。

経済産業省「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」、山形大学との連携

当金庫は山形大学と様々な形で連携しております。特に、山形大学工学部、山形大学国際事業化研究センターとの間では、地元中小企業の事業支援のための連携協力協定を締結しております。



また、平成27年度は国の事業である「平成27年度中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」に取り組んでいる山形大学「学金連携プラットフォーム」に参加し、事業者の皆様の様々な経営課題に関する相談に応じて、適切な専門家による支援を行っております。



山形大学との連携による「産学金連携横町」に参加し、ビジネスマッチ東北2015にて16社の顧客企業出展をサポートしました。

城南信用金庫主催「日本を明るく元気にする“よい仕事おこし”フェア」に参加



城南信用金庫が主催した「日本を明るく元気にする“2015よい仕事おこし”フェア」(平成27年9月8日～9月9日)に参加(東京国際フォーラム)しました。当金庫からも取引先から出店していただきました。

やまがた絆の森における里山地域の「森づくり活動」

山形県の森づくりによる二酸化炭素削減の推進、地域活性化などを目指した「やまがた絆の森プロジェクト」において、新庄信用金庫、NPO法人バイオマスもがみの会、山形銀行、山形県、柴草山管理組合(新庄市内)、新庄市の6者間で「やまがた絆の森『しんきん結(ゆい)の森・ぐるっと花笠の森【新庄】』として協定を締結し、活動を継続しております。

このプロジェクトで私どもは、地域住民、企業が気軽に森づくりを行い、活動成果を実感できる仕組みを構築するためにバイオマスもがみの会等と共にコンソーシアムを形成し、下記のような活動を行っております。



平成27年5月30日(土)

「木チップ遊歩道整備と森の宝探し体験」

- ・新庄フットボールクラブの選手を含む101名の参加者で10㎡の木チップを約300mの遊歩道に敷き詰めました。



平成27年11月14日(土)

「森の材料でフォトフレーム作り・遊歩道下刈り整備・芋煮会」

- ・127名の参加者で全長約700mの遊歩道下刈り整備と、里山保全における情操教育効果を目指した活動として森の材料でフォトフレーム作りを行いました。

平成27年11月発行

新庄信用金庫 総合企画室

〒996-0027 山形県新庄市本町2番9号

TEL. 0233-22-4222 (代表)



SHINJO SHINKIN BANK